

東京都戦没者追悼式

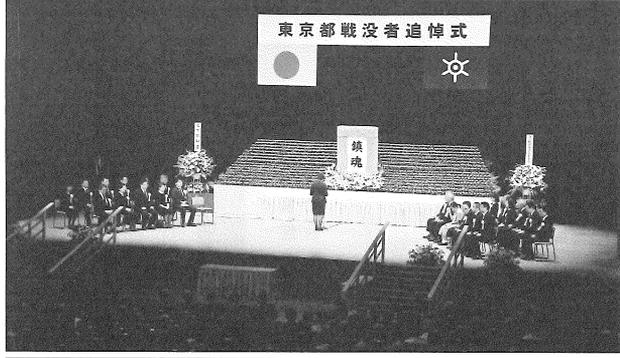
東部ニューギニア第三次現地調査について

粕江市遺族会会長 武藤孝行

東京都戦没者追悼式に
おいて、追悼のごほを
述べていただきます。そ
の中で、毎年参加してい
る遺骨調査・収容活動の
ことを話させていただきます。

ここでは、東部ニュー
ギニア第三次現地調査の
状況を報告させていただきます。

日本軍は昭和十七年三
月にニューギニアに侵攻
し、三年半の戦いで延べ
約十五万の兵が投入さ
れ、約十三万人が戦死し
ました。「死んでも帰れ
ず」の地でもあり、



追悼の言葉は、両親に相
談に乗ってまいりながら
考えました。



追悼の言葉は、両親に相
談に乗ってまいりながら
考えました。

追悼の言葉を述べて

北区滝野川遺族会 松原 瑠子 (小学五年生)

「八月十五日の東京
戦没者追悼式に遺族代表
として追悼の言葉を述
べてみませんか」とのお話
を、初めは断ると思い
ました。大勢の人の前
で話すことを少し恥ずか
しいと思う気持ちもあ
り、何より、戦没者の顔
を知らない私が追悼の言
葉を述べることの意義が
判らなかつたからです。



追悼式の前日のリ
ハールに参加して、追
悼の言葉を述べてもら
えました。当日の流れを
説明してもらったことが
目的でしたが、父から追
悼の言葉をもっとゆっ
くり読むようにアドバイ
スをもらいました。二度目

追悼式の前日のリ
ハールに参加して、追
悼の言葉を述べてもら
えました。当日の流れを
説明してもらったことが
目的でしたが、父から追
悼の言葉をもっとゆっ
くり読むようにアドバイ
スをもらいました。二度目

「八月十五日の東京
戦没者追悼式に遺族代表
として追悼の言葉を述
べてみませんか」とのお話
を、初めは断ると思い
ました。大勢の人の前
で話すことを少し恥ずか
しいと思う気持ちもあ
り、何より、戦没者の顔
を知らない私が追悼の言
葉を述べることの意義が
判らなかつたからです。

追悼式の前日のリ
ハールに参加して、追
悼の言葉を述べてもら
えました。当日の流れを
説明してもらったことが
目的でしたが、父から追
悼の言葉をもっとゆっ
くり読むようにアドバイ
スをもらいました。二度目

追悼式の前日のリ
ハールに参加して、追
悼の言葉を述べてもら
えました。当日の流れを
説明してもらったことが
目的でしたが、父から追
悼の言葉をもっとゆっ
くり読むようにアドバイ
スをもらいました。二度目

その地に立って

日の出町遺族会

岡野 利幸



慰霊巡拝の二年でし
た。私の父親はフィリ
ピン・ミンダナオ島バオ
アで父の弟はニューギ
ニアで母の兄は戦死し
た。

慰霊巡拝の二年でし
た。私の父親はフィリ
ピン・ミンダナオ島バオ
アで父の弟はニューギ
ニアで母の兄は戦死し
た。

追悼式の前日のリ
ハールに参加して、追
悼の言葉を述べてもら
えました。当日の流れを
説明してもらったことが
目的でしたが、父から追
悼の言葉をもっとゆっ
くり読むようにアドバイ
スをもらいました。二度目

追悼式の前日のリ
ハールに参加して、追
悼の言葉を述べてもら
えました。当日の流れを
説明してもらったことが
目的でしたが、父から追
悼の言葉をもっとゆっ
くり読むようにアドバイ
スをもらいました。二度目

- 勲章受賞
 - 宇田川 叙雄 (東京都遺族連合会会長・日本遺族会副会長)
 - 齋藤 洋一 (足立区戦没者遺族会会長)
 - 相原 公郎 (千代田区遺族会会長)
- 援護事業功労者厚生労働大臣表彰
 - 中山 和政 (三鷹市遺族会会長・東京都遺族連合会副会長)
 - 松丸 留美 (江戸川区遺族会女性部長)
 - 澁谷 銀藏 (清瀬市遺族会会長)
 - 藤井 政孝 (豊島区戦没者遺族会会長)

受賞のお知らせ

- 軍歴証明書の請求窓口の案内
 - (陸軍) 東京都
 - 東京都福祉保健局生活福祉部
 - 計画課 課長 坂田 昌
 - 〇三・五三三〇一四七八
 - 請求者の氏名・生年月日・当時の本籍地を告げたい請求
 - (海軍) 厚生労働省
 - 厚生労働省社会・援護局 援護課
 - 業務課 課長 佐野 隆
 - 〇三・五五三二二二二

南方地域戦没者追悼式に 参列して

日野市遺族会副会長 須崎 充 悦

数の参列のもと、厳粛に執り行われました。

私にとって、三度目の沖繩訪問でしたが、遺族の代表として「追悼」として「追悼」の機会を与えられ、深く感激を味わいました。

この式典の中で、沖繩平和祈念堂園より提供された平和の魂を信じた「オオゴマダラ」の放蝶に立ち会うことができました。

この式に先立ち、沖繩・ニューギニア・サイパン・フィリピン・硫黄島・ベトナム等々の地で散華された二十六名の遺族が、沖繩護国神社・平和の礎・ひめゆりの塔・鎮魂の塔を慰霊巡拝しました。



明に甦るのです。

史実に基づくこの日は、昭和二十年四月の午後十一時頃の出来事。この時、若菜源三郎は、既に北マリアナ諸島のサイパン島の地獄の地、戦死していただろうと、後知るところです。

今般の沖繩訪問のあと、誠に残念極度の未明に発生した首里城の突然の火災正殿・北十五日、初めに空襲で宮殿・南殿で文化財が消失したことは心痛の極みです。

今般の内部に保管された多くの文化財五百点の「沖繩の宝」の消失が、島の多難多岐に落胆の音が広がっているようです。

これからは、人智の力を結集しながら、一刻も早い首里城が、め細かな計画が練られ、再建される日を切に期待する一人です。

昨年の十月十四日、東京都南方地域戦没者追悼式が、沖繩の糸島市米須の丘「東谷の塔」で多

みを感じました。見ていて少し辛くなってしまいました。すぐに展示室から出てきました。しかし、感じた重みを忘れず、このよな過去があったことを忘れず次の令和という時代を生きていくという決意は生まれました。

（中3年生）

二年前の秋、九十八歳に父が亡くなりました。父は海軍の護衛艦に乗り、孫の私たちが話した、父の終焉の場所なのです。

私の僅かな記憶から、父の死の瞬間を思い出すたびに、涙が頬を伝って、胸を締めつける思いが、今も私に残っています。

遺品展示室見学者 の 声より

〇合和になっても先達の犠牲を忘れず受け継いで行かねばならない。学校で行われた平和学習で思うところがある。来宛を待たせていただきました。展示物を見、教科書だけでは分かりなかつた重

〇戦争反対というのほどです。大切なのは、戦争に負けたら、また争いにつながる小さな身に敏感であることではないでしょうか。ある日突然戦争が降ってきたら、どうしたらいいか。足元を固くして、争いから身を守りたいです。

（東京都30代女性）

〇教科書だけでは平和の大切さ、尊厳を思い、生きていくことが、大切だと思いました。いつか、世界が平和になり、みんな笑顔で暮らしていけるように、私も頑張ります。

（奥野郷生）

〇戦争反対というのほどです。大切なのは、戦争に負けたら、また争いにつながる小さな身に敏感であることではないでしょうか。ある日突然戦争が降ってきたら、どうしたらいいか。足元を固くして、争いから身を守りたいです。

（中3年生）

二年前の秋、九十八歳に父が亡くなりました。父は海軍の護衛艦に乗り、孫の私たちが話した、父の終焉の場所なのです。

遺族連合会創立七十周年記念式典開催

東京都遺族連合会は、昭和二十四年五月、財団法人東京都遺族厚生会として発足し、昨年、七十周年となりました。五月に、小池都知事、靖国神社司宮はじめ多くの来賓を迎え、遺族代表二百四十人の会員が参加して、明治記念館の富士の間において、厳かの中にも盛大に記念式典を挙行いたしました。

式典の中で、冒頭、宇田川会長の「この七十周年を節目として組織の再構築に努め、伝統ある遺族連合会として、設立目的の遂行に一層の精進努力を以て参る所存であります」と挨拶があり、功労者百五十六人を表彰し、記念講演として、古賀誠日本遺族会名誉顧問の自らの体験を踏まえたお話しがありました。

開催日時
令和元年五月二十一日（火）
午後二時より

開催場所
明治記念館 富士の間

東京都遺族連合会 運営資金協賛へのお願い

平素、本会の事業運営にあたりご遺族の皆様からご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本会も設立早71年となり、目的とする英霊の慰霊顕彰や戦没者遺族の処遇改善運動等を推進しているところです。その財源は、遺族会の分担金に依存しております。近年、地区遺族会会員の減少に伴い、運営財政は大変厳しい現状にあります。

本会と致しましては、ご遺族皆様の心温まるご支援を仰ぎ、今後とも適切に連合会の事業、行事を推進する所存であります。是非、この趣旨にご理解を賜り、ご協賛戴きますようお願い申し上げます。

なお、協賛金につきましては、金額は問いません。

- 〇協賛金の振り込みは
 - ・きらぼし銀行 春日町支店
 - ・普通預金 0107550
 - ・名義人（一般財団）東京都遺族連合会 会長 宇田川 剛雄
- 〇郵便振替
 - ・口座番号 00190-8 665734
 - ・加入者名（一般財団）東京都遺族連合会

女性部・青年部活動状況

女性部

〇拝礼式終了後、女性部長会開催。その時の活動状況を報告し、意見疎通を図っている。

〇連合会の新年会の受付・案内、七十周年記念式典受付、会場案内を行い、島崎女性部長が菊地江川区青年部員と合同進行

青年部

〇平成二十八年三月の理苑会議等において、正副会長・地区会長と青年部員が参加して、青年部の立ち上げに

〇平成二十八年三月の理苑会議等において、正副会長・地区会長と青年部員が参加して、青年部の立ち上げに



〇八月十五日 全国・東京戦没者追悼式への受けて、これまでの青年部員が参加して、青年部の立ち上げに

地区遺族会だより（投稿）

父の遺書 桜にこめて涙へ
今靖國は 春を待つ

板橋区遺族会 木村百合子

いつまでも 忘れ形見は父を追って
生きて還らじ 門司港に立ち

